

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成29年5月26日

山北町議会議長 府川輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	5番	原憲司	印
件名	観光振興による地域の活性化とにぎわいづくりを				

要旨

当町の人口は、平成28年3月1日現在11,072人で、65歳以上の高齢者は3,925人で、高齢者率が35.4%であり、平成29年3月1日現在の人口は10,811人で、65歳以上の高齢者は3,946人で、高齢者率が36.5%になっており、平成28年3月と平成29年3月を比較すると人口は261人の減で、高齢者は21人の増で、1.1%の増となっています。

人口減少がさらに進む中で、高齢者は急速に増えていますので、観光振興を積極的に推し進め、地域の活性化とにぎわいづくりを進め、地域の方や高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進する方策について、次の6点を質問します。

1. 町の素晴らしい自然環境を生かした観光振興を推進するため、富士山の絶景や足柄平野から相模湾の絶景が一望できる観光スポットとして、丸山か浅間山地区に観覧用の観光施設(ランドマークタワー)を整備し、多くの観光客を呼び寄せ、地域の活性化とにぎわいづくりに繋げるとともに、観光客の増加による山北駅周辺のにぎわいづくりにも繋げるため、観覧用の観光施設の整備を積極的に推し進めてはどうか。

2. 大野山は、富士山や丹沢山系、足柄平野などの素晴らしい自然景観が一望できる絶景の景観地であるとともに、大野山へのハイキングコースは、自然豊か

な景観や谷峨駅から登る富士山の景観は素晴らしいものがあり、山北町らしい絶景の観光地でありますので、谷峨地区の酒匂川に架かる橋の整備を早急に行い、谷峨駅から大野山へのハイキングコースを絶景の地として観光宣伝やピーアールを積極的に行い、地域の活性化とにぎわいづくりに繋げてはどうか。

3. 酒水の滝の滝つぼが眺められる施設の整備を早急に行い、地元と協議する中で、観光客への観光宣伝やピーアールを積極的に行い、観光客の増加を図り、地域の活性化とにぎわいづくりを推し進めてはどうか。
4. 高松山への観光客の増加を図るため、観光客を多く呼び寄せ、高松山のすばらしい眺望である箱根連山や富士山、丹沢山系が眺められる景観を広く宣伝やピーアールを積極的に行い、高松山の素晴らしさを多くの観光客に知っていただき、地域の活性化とにぎわいづくりを進めてはどうか。
5. 多くの観光客に三保地域の素晴らしい自然景観を認識していただく中で、三保ダムの景観美や丹沢湖でのボート遊び・魚釣りなど、三保ダム・丹沢湖の良さを十分知っていただくとともに、玄倉地区からユーシンまでの自然豊かな渓谷や清流・山岳道の良さを知っていただくために、三保地域の自然豊かな環境美を心に感じ取れるような観光宣伝やピーアールを積極的に推し進め、多くの観光客を招くことにより、地域の活性化とにぎわいづくりに繋げてはどうか。
6. 山北町の観光協会やシルバー人材センターなどと連携し、観光案内等を積極的に行い、地域の活性化とにぎわいづくりを図り、地域の方や高齢者が生きいきと暮らせる地域づくりを推し進めるとともに、当町の観光地や観光施設の宣伝・ピーアールを積極的に行い、多くの観光客に当町を訪れていただき、地域の活性化とにぎわいづくりに繋げてはどうか。

以上